

# かびでかびの病気を防ごう

【背景・目的・成果】兵庫県では、露地野菜の生産が盛んです。しかし、長年の連作により病気が発生しやすくなっています。なかでも菌核病は、近年、淡路や阪神地域のキャベツ・レタス産地で発生が増加しています。従来の防除対策は化学農薬が中心でしたが、環境創造型農業が叫ばれる昨今、できるだけ化学農薬を使わない防除法の確立が望まれています。そこで、新たな防除技術として菌核病菌(かび)を食べるかびで防除しようと試み、実用できる効果を認めました。

かびを食べるかびとは：

- 1 かびを食べるかびの名前は**コニオチリウム菌(善玉菌)**といいます。
- 2 特別なかびではなく、私たちの周りに普通に生息するかびです。
- 3 菌核病菌(悪玉菌)の菌核に特異的に**寄生・崩壊**させて殺します。



この技術のメリット：

- 1 この**かび(善玉菌)**を使うことによって化学農薬の散布回数を減らすことができます。
- 2 この**かび(善玉菌)**はあらかじめ土壌に散布し耕耘するだけで効果が現れます。

菌核(悪玉菌)の崩壊



悪玉菌にとりつく



悪玉菌の内部に侵入



悪玉菌が壊れる



かび(善玉菌)処理区



無処理区

【技術の活用】本剤は、キャベツとレタスで農薬登録済みです。  
かびを使った生物防除は総合防除の一技術と考え、他の技術と併用することが有効です。